

いのちのことば社 新刊案内 2025年5月発売予定



B6判 192頁 定価1,650円(本体1,500円+税)
ISBN978-4-264-04546-5 C0016
いのちのことば社卸コード 09605

ぼくを忘れていくきみと アルツハイマー病の妻と生きる幸せ

吉田晋悟 著

63歳で認知症になった妻との日々を綴る牧師の手記。「私として生きていきたい」と決意した妻と歩んだ闘病と介護の18年は、真に愛することに目覚めていく夫婦の旅路だった。神を忘れることも神から忘れられることもない。「百万人の福音」の好評連載、待望の書籍化。

吉田晋悟 (よしだ・しんご)

1943年生まれ。関西聖書学院を卒業後、結婚。日本福音教会の教職者として妻の多美子さんと共に牧会に従事。2006年、多美子さんは63歳の時に若年性アルツハイマー型認知症の診断を受け、同年、日本初の「認知症本人会議」に参加し当事者の思いを語った。2010年より認知症と向き合う妻との日々をブログやSNSで発信。NHKで放送された「夫婦2人会えなくなった先に」(20年7月放送「クローズアップ現代+」「失われた時をこえて—認知症家族の3年」(23年6月放送「NHKスペシャル」)では、コロナ禍で面会が困難となった夫婦の様子が紹介され反響を呼んだ。多美子さんは2024年1月26日、天に召された。